

標 題 : The Medi-RIVAGE study (Mediterranean Diet, Cardiovascular Risks and Gene Polymorphisms): rationale, recruitment, design, dietary intervention and baseline characteristics of participants
Medi-RIVAGE 研究(地中海食事、冠状動脈性リスクと遺伝子多型) :
理論的根拠、募集、計画、食事介入および開始時の参加者の特徴

著 者 : S. Vincent, et al. (フランス INSERM(国立健康医学研究所))

掲 載 誌 : Public Health Nutr. 7(4): 531-542 (2003)

要 旨 :

目 的 : Medi-RIVAGE 研究(地中海食事、冠状動脈性リスクと遺伝子多型)における理論的根拠、募集、計画、食事介入、および開始時の参加者の特徴を報告すること。

計 画 : 新栄養プログラムを従来のプログラムと比較するランダム化、並行試験。

設 定 : フランス、マルセイユのティモン大学病院、アテローム性動脈硬化 - 発見予防センター、および協力チーム

被験者 : 心臓血管系危険因子が少なくとも1つある男性と女性のボランティア 212 名。

介 入 : 脂肪酸の質、魚の量、植物性食品および繊維を主な特徴とする地中海式食事を提案して通常処方 of 低脂肪・コレステロール食事と比較した。BMI、空腹時の脂質とリポタンパク、アポリポタンパク、グルコース、インスリンとホモシステインが主な結果測定であった。興味のある遺伝子多型を測定した。

結 果 : 2 群で男性の特徴は社会人口学的変数と生物学的な心臓血管系危険因子とも同等であった。女性の群間で差は少なかった(コレステロール関連値、 $P < 0.05$)。遺伝子多型のアレー分布に群間の差はなかった。

飽和脂肪とタンパク質の摂取は高く炭水化物と繊維の摂取は低かったが、群間の差はなかった。全体として両群の栄養的指標は少数の例外を除いて同等であった。栄養摂取と血漿の栄養素値との間の相関は 0.19(-カロテン)から 0.47(葉酸)の範囲であった。

結 論 : 2 群の同等性が顕著で偏りリスクが低いと保証される。現在の食事は伝統的な地中海食事から離れている。栄養摂取の評価は、食事摂取と関連バイオマーカーとの間で得られた相関で正当と確認される。参加者の順守を評価して介入データを解析するときに、このことが重要となるだろう。

コメント : 介入試験の開始前に参加者を比較した結果で、介入試験の結果は次の論文で報告の予定!

